

Q.この合奏団に参加することになったきっかけは?

中西 昨年、公民館で高齢者対象の「健康と音楽」という講座に参加した際、一緒に参加していたメンバーから「発表会をやってみよう」という話が湧き上がり、関係者のご協力で行行委員会を結成しました。

高木 私もその講座に参加したのがきっかけです。昨年、職場を退職したのを契機に、何かみなさんと一緒に楽しみなことができることはないかと思っていました。もともと音楽が好きだったので、参加しました。男性は私と山下さんの二人だけで、最初はちょっと心細かったですね。

Q.「留萌げんきmorimori合奏団」の練習はどんな感じでしたか?

中西 今年の6月から毎月2回程度の練習を行ってきました。はじめはみなさん不安な面もあったと思いますが、講師の方々の分かりやすく楽しいご指導のおかげで本当に楽しく練習を続けることができました。



Q.今回の音楽祭への参加を通じて感じたことは?

高木 私を含めほとんどのメンバーは楽器演奏の初心者だと思えますが、音楽の好きな方ばかりなので、練習はとても熱心で回を重ねるごとに自信もついてきたんじゃないでしょうか。

中西 わたしは、コーラスサークル「ローズシエー」の一員としてもこの音楽祭に参加しました。

これまでの活動を通じて強く感じたことは、私のように高齢になればなるほど友人の存在は大きくなると思います。高齢者だからこそどんどん外に出て行く気持ちが必要だと感じています。

高木 私にはどちらかと言え、一人で何かを楽しむということが好きで、多くの人の中に入って活動することはあまりありません。

でも、今回、みなさんと一緒に活動したことで、こんなに楽しい思い出と素晴らしい仲間を得ることができました。ほんの少しの勇気を持って一歩踏み出すことの大切さをあらためて感じました。

Q.読者に向けてのメッセージを!

中西 今年の広報も1月号で二人でも多くの人が明るく元気に過ごせるマチになるためにできることがあれば、仲間とともに協力したい」と新年の希望を話しました。それが、こんなに早く実現できて感動しています。留萌を愛する気持ちがあれば、ほんのささやかなことでも幸せに感じる事ができると思っています。



一人ひとりの元気で留萌をもっと元気なマチにしていきます。



高木 好奇心旺盛だった子どもの頃やチャレンジを繰り返した青年時代の気持ちを思い出し、これからは元気に留萌で生活していきたいですね。留萌生まれで留萌育ちの私

初めて留萌を訪れた寺山さん、留萌の印象は予想外のものだったという。

「初めての就職と独り暮らしに對する不安、そして初めて訪れる留萌というまち。あの時は正直ブルーになりました。でも留萌の第一印象は、結構都会じゃないでした。もともと留萌はかなり田舎なんだろうなあ」と勝手に想像していたことが、結果的に良い第一印象につながったんでしょうね。あとは何と云っても、あの強烈な猛吹雪ですね。運転中に前の車が見えなくなったばかりか自分の車のボンネットさえも見えなくなるんですから。札幌迎りの冬とはまるで別物でしたね。本当にびっくりしました。」

だんだんと留萌生活に慣れてきた頃、寺山さんはあることを決意したという。

「以前、留萌へ来たとき、留萌の情報を入手するのになかなか苦労した経験がありました。そんなことから、これから留萌へ転入される方々に少しでも役立つ情報を発信できればと思い立ち、「留萌生活」というホームページを立ち上げたんです。」



Q.ホームページを開設してからの反響はどうでしたか?

やはり転勤族の方からのメールが多く、留萌の天候や服装、ショッピングなど様々な質問が寄せられます。特に本州から転勤してくる方からのメールが多いのは、やはり北海道での生活に不安

「留萌生活」を見見すると、留萌に長く住んでいる私たちがさえ気が付かない留萌の情報が時には辛口で、時にはやさしく綴られている。寺山さんにとつての「留萌生活」を聞いてみた。

があるんでしょうかね。このHPのお陰でスムーズに引越せたとか、留萌のイメージが湧いてすんなり留萌の生活に溶け込めたなどのお礼のメールをいただいたときが一番嬉しい瞬間ですね。

Q.最後に留萌市民に向けてメッセージをお願いします。



嫌いなところが「ありません」と言うのはダメですか? (笑) いやー、たくさんあって困りますよね。海や夕陽も最高ですし、星も綺麗でした。それから、食べ物が美味いですよ。どこの食べ物屋さんも安くて美味しかった印象があります。飾らない接客態度も、とても温かみを感じられて好きでした。(反論あるかな?)

でも、1つだけ上げるとすると留萌の規模でしょうか。人が快適に暮らすための適正規模というものがもしあるのなら、留萌ぐらいがちょうどその規模なのかなと思います。人の繋がりが太く、常に

留萌に住んでいるのではなく、留萌が好きだから住んでいる、そういう発想はどうでしょう。私もまた留萌で生活したいと思っています。

留萌のみなさん、そのときはどうぞよろしくお願いします。...この冬もあの猛吹雪がやってくるのでしょねえ...

寺山 善規さん

小樽市生まれ。高校卒業後、留萌支庁に勤務(平成4年5月~平成14年5月までの丸10年間)。現在は、札幌に勤務(在住)している。趣味はバイクや車で長距離ドライブ! それとお酒をこよなく愛している。

高木 博さん

留萌市生まれ。趣味は音楽鑑賞、ソフトテニス。合奏団の団長として参加。

中西フミエさん

留萌市生まれ。趣味はコーラスと習字。合奏団では、コーラスと楽器を担当。

今月の特集を企画するきっかけとなったホームページ「留萌生活」の開設者 寺山善規さんにお話を伺いました。「留萌生活」URL <http://rumoi.walker.jp/>

10月19日に留萌市中央公民館で開催された「留萌げんきmorimori合奏団」に参加した中西フミエさんと高木博さんに音楽祭終了直後にお話を伺いました。